

ホタテガイ採苗速報

付着数は西湾76,389個/袋、東湾319,808個/袋

1 ホタテガイの付着状況

5月21日～24日に行った第1回全湾付着稚貝調査結果は、図1および表1(別紙)のとおりで、ホタテガイ稚貝の平均付着数は、西湾で76,389個/袋、東湾で319,808個/袋と、いずれも過去10年の平均値(西湾62,317個/袋、東湾173,497個/袋)よりも多くなっています。

稚貝の平均殻長は、西湾で1.35mm、東湾では0.94mmと、いずれも過去10年の平均殻長(それぞれ0.82mm、0.68mm)よりも大きいサイズとなっています。

2 キヌマトイガイ等の付着状況

キヌマトイガイの付着数は、全湾平均で63,453個/袋と、過去10年の平均値(53,561個/袋)よりも多く、ムラサキイガイの付着数は、全湾平均で17,245個/袋と、過去10年の平均値(24,934個/袋)よりも少ない状況です。

3 ホタテガイラーバ等の出現状況について

5月23日に陸奥湾9定点でラーバ予備調査を行った結果、ホタテガイラーバの出現数は、西湾平均で365個/トンと、過去10年の同時期の平均値(400個/トン)よりもやや少なく、東湾平均では1,425個/トンと、過去10年の同時期の平均値(1,885個/トン)よりも少ない状況です。

ヒトデのラーバは全湾平均で0個/トンと過去10年の同時期の平均値(5.7個/トン)よりも少なく、付着直前のブラキオラリア幼生も見られませんでした。

4 試験採苗器への付着状況

ホタテガイの付着数は、水産総合研究所の久栗坂実験漁場で864個/袋(6日間)でした。

5 海況

各ブイの5月19日～25日の週別平均水温は表2のとおりです。半旬別水温は、平館ブイの15m層で平年よりもはなはだ高め、青森ブイと東湾ブイの15m層でやや高めとなっています。

6 今後の見込み

ホタテガイの付着数が多い所では稚貝の成長が悪くなり、稚貝採取が大幅に遅れる可能性があるため、間引きが必要です。

早い所で西湾では今週末、東湾では6月中旬から確実に目で見えるサイズ(殻長2～3mm)で間引きができる見込みです。

ただし、ウミセミ1個体は、2mm以下のホタテガイ稚貝を1日に200～300個食べてしまうため、採苗器の中にウミセミが多く入っており、かつホタテガイの付着数が少ない場合は、早めに袋替えをしてください。

なお、間引きの詳しい状況や時期については、6月6日に臨時付着稚貝調査(中層1袋)を実施して**6月9日発行予定の採苗速報第9号に情報を掲載**しますので参考にしてください。

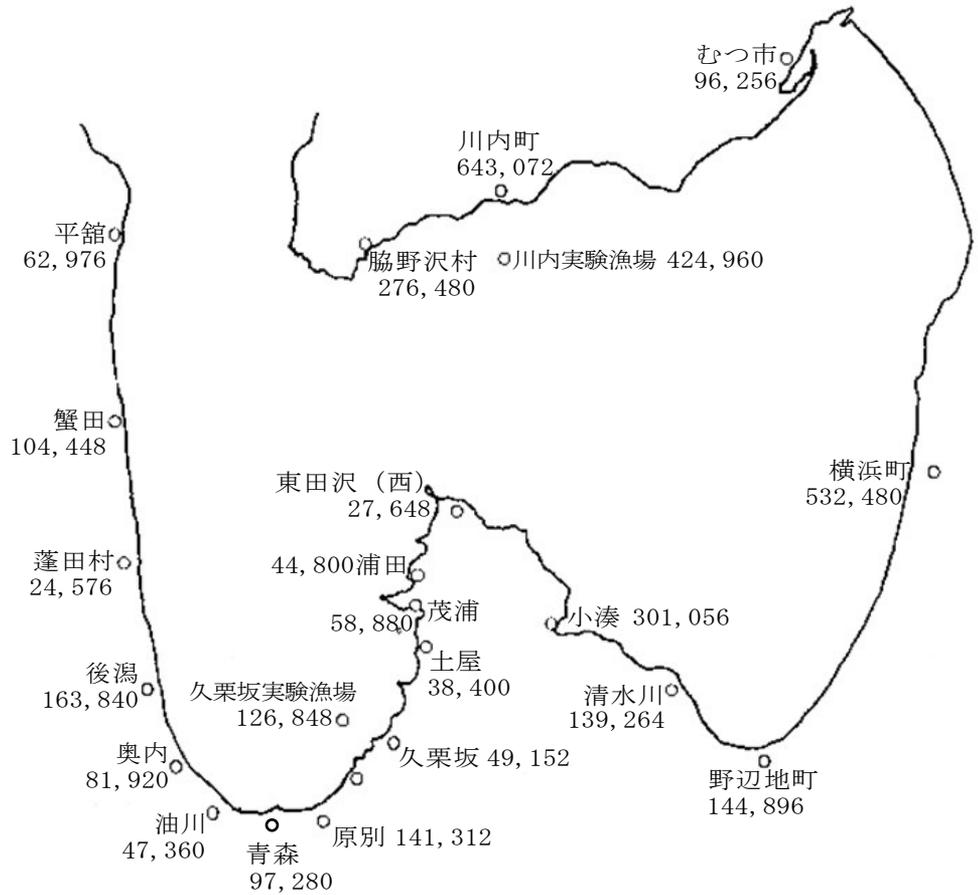


図1 漁協、支所別のホタテガイ付着数(個/袋)

表2 各ブイの1週間(5/19～5/25)の週別平均水温

観測地点	水温(°C)	観測地点	水温(°C)	観測地点	水温(°C)
平館ブイ	11.8～13.6	東田沢ブイ	10.4～13.2	横浜ブイ	10.4～13.8
奥内ブイ	11.2～13.8	野辺地ブイ	-	浜奥内ブイ	10.3～14.5
青森ブイ	10.9～14.0	東湾ブイ	9.3～13.4		

-:メンテナンス中

※袋替えおよび間引き作業の注意点

- ・採苗器の状況を十分に把握する(稚貝の付着数は地域、垂下水深、投入時期等によって異なる)。
- ・稚貝へのショックは出来るだけ少なくする(間引きを行う場合は、流網などの付着基質を上下に振るだけにして船べり等に叩き付けない)。
- ・採苗器へ残す稚貝の数を自分の目で確認しながら適正にする(2万個程度になるように)。
- ・作業後は、施設を安定させる。
- ・ヒトデの付着が見られるときは、結び目をよく洗う。

